

4. 活動報告

4. 1 会議録

第1回人材育成運営委員会

日時 2016年11月7日 13時40分から18時00分

場所 東北大学理学研究科合同C棟S407号室

- 議題
1. 受講生便覧、受講生募集要項、審査方法について
 2. コンソーシアム募集案内について
 3. プログラム開校式について
 4. 火山学セミナーの実施について

第2回人材育成運営委員会

日時 2016年12月12日9時から12月14日15時（メール会議）

- 議題
1. コンソーシアム協力機関の承認について

第3回人材育成運営委員会

日時 2017年1月29日 9時から1月31日12時（メール会議）

- 議題
1. コンソーシアム協力機関の承認について
 2. 来年度の事業計画について

4. 2 対外的発表

2016年9月8日 信濃毎日新聞 記事 「火山研究新プロジェクト」

2017年1月4日 読売新聞 記事「火山学者育て！大学連携」

2017年2月12日 信濃毎日新聞 記事 「火山研究者育成へ一歩」

2017年3月14日 南日本放送 夕方ニュース

5. むすび

東北大学は代表機関として、参加機関と協力して火山研究人材育成に関するコンソーシアムの構築をすすめた。平成 28 年 10 月の事業開始後に人材育成運営委員会、事務局を設立し、人材育成運営委員会の規定を整備し、平成 29 年 2 月には開校式を行い、学部 4 年生から博士課程 1 年生までの計 36 名を、本コンソーシアム事業によるプログラムの受講生として認定し、教育プログラムも開始することができた。また、本プログラムの担当者の多くが直接的に関わる、次世代火山研究・人材育成総合フォーラム（第 1 回）や、災害の軽減に貢献するための地震火山観測研究計画の成果報告シンポジウムを利用した、火山学セミナーにも多くの受講生が聴講した。3 月には、霧島山において地球物理学的観測方法および地質・岩石学的調査に関するフィールド実習を、21 名の受講生と 10 名のスタッフで行った。以上のように、初年度のコンソーシアム事業の整備が終わり、教育プログラムを運営して行く上での最低限の体制はほぼできあがった。また、受講生にもいくつかの教育プログラムを提供するとともに、改善点の指摘も得た。次年度以降には、地方自治体等のコンソーシアムへの参画の拡充をはじめ、体制をより整備するとともに、多様な分野の火山学セミナーを提供することを計画している。